

# 子どもを守る条例—全国97の自治体で制定 今度は宇治市で 一緒に作りましょう！



## 国連子ども権利委員会

### 日本政府に厳しい勧告！

日本政府が、1994年4月に国連「子どもの権利条約」を批准して今年で0年が経過します。「権利条約」は、子どもの権利を大きく4つの権利（生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利）に分け、政府にその権利を守るよう定め、子どもにとって一番いいことを実現しようとうたわれています。

#### 3回目の調査・勧告でも…

「子どもの権利委員会」は、子どもの権利がどこまで実現しているのか、批准した国が提出した資料に基づき、5年ごとに調査や協議を行っています。

毎回、厳しい勧告を受けている日本政府。3回目の2010年6月にも、厳しい懸念や勧告がだされています。

「高度に競争主義的な学校環境が、いじめ、精神的障がい、不登校・登校拒否、中退及び自殺に寄与している」と、これまで以上に厳しい懸念が表明されています。

#### 過去2回にわたって

「過度に競争的で子どもの発達に歪みをもたらしている」と、日本政府に改善を求める厳しい勧告がだされました。



## 子ども幸福度調査（ユニセフ）

### 子どもの3割が「孤独」感を訴え…

国連児童基金（ユニセフ）の子ども幸福度調査では、日本の子どもの3割が「孤独」感を訴え、OECD平均の7%を大きくうわまわっています（左図参照）

その要因について、「子どもと親、子どもと教師との間の関係の貧困さにある」と指摘しています。

その背景に、子どもに接する大人の困難があることも具体的施策にふれて指摘し、その変更を勧告しています。

## 宇治市の現状は…

「子どもの貧困」は年々厳しさを増し、就学援助の認定者数は、市内のある小学校では8割、ある中学校では3割をこえる深刻な状況です。

また、産科・小児科病院が減少し、子どもの健康が心配です。「虐待・放任から守られる権利」

があるのに、市の虐待件数は5年前と比べると約3倍も増加しています。

「子どもの権利条例」を制定し、子どもを取り巻く深刻な状況を大きく改善していきましょう。